

平成30年度（2018年度）

事業報告書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

公益財団法人 関西交通経済研究センター

目 次

I. 概 況	1
II. 事業報告	
1. 交通経済に関する調査研究	2
受託調査研究事業	2
2. 交通経済に関する講演会等の開催	12
3. 懸賞論文(提案・提言)の募集事業	14
4. 文献その他出版物の刊行	14
5. その他	15
III. 庶務事項	
1. 会 議 等	
A. 理 事 会	16
B. 評 議 員 会	17
C. そ の 他	17
D. 役員名簿等	18
2. 賛 助 会 員	18
3. 事 務 局	18

I. 概況

平成30年度における我が国の経済状況は、輸出や生産の一部に弱さもみられたが、景気は緩やかながらも回復基調で推移した。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動に留意が必要である状況であった。

近畿圏における状況をみると、関西国際空港については、平成30年の総旅客数は台風21号の影響があったものの、前年比3%増の2,894万人と過去最高を更新した。国際線旅客のうち、外国人旅客数は前年比7%増え、1,528万人と過去最高を更新した。

大阪駅周辺地区では、大型複合施設「グランフロント大阪」が、平成25年4月の開業以来順調に集客を伸ばしており、その周辺再開発地区である「うめきた2期区域」については、「みどり」と「イノベーション」の融合拠点を目標に「うめきた2期まちづくり基本方針」に基づき、JR 東海道線支線地下化事業、新駅設置事業、土地区画整理事業や公園整備事業等が進められており、2024年夏のまち開きを目指すこととしている。

一方、阿倍野・天王寺地区では、日本一の高さの高層ビル「あべのハルカス」については、平成26年3月の開業以来の来場者が2億541万人、直近1年間で3,599万人と開業後最も多く、順調に来客数を伸ばしている。

また、リニア中央新幹線・北陸新幹線が乗り入れる新大阪ターミナルと関空とのアクセスを向上させる「なにわ筋線」については、2031年開業を目指し工事が進められており、更に、2025年国際博覧会の大阪開催が決定され、その後、「大阪・関西万博」と略称することとされた。

このような状況の中で、当センターは関西圏における交通運輸、観光事業の発展と経済社会の発展に資するよう、関係機関のご指導の下に賛助会員並びに業界団体等の皆様からのご支援をいただき次のとおり、各種の事業を積極的に推進してきたところである。

平成30年度の交通経済に関する調査研究事業については、関係社団・財団、業界団体等からの受託調査研究事業等を実施した。その中には、当センターの主要な組織であるTSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進に係る受託も含まれている。

交通経済に関する講演会等の開催については、災害対策シンポジウムの開催のほか、サロンセミナー、かんこうけんコロキウム等を実施した。

また、次世代を担う方々の叡智を通じて当センターの調査研究における新たな切り口を発掘する懸賞論文募集事業については、15件の応募があり、優秀賞と佳作をそれぞれ1件選定し、表彰した。このほか、文献その他出版物の刊行として、関西交通経済ポケットブック2018年版及び機関誌「関交研」2018年春季号・秋季号を刊行した。

II. 事業報告

1. 交通経済に関する調査研究

受託調査研究事業等・・・13件

《概要》

(1) TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進

【事業内容】

運輸の安全確保を最重要課題として発足した「運輸安全マネジメント制度」は12年が経過し、大手・中堅事業者については取り組みが定着し一定の成果を挙げているが、更にその成果を拡大していくためには、中小規模事業者への普及・啓発をより推進していく必要がある。

自動車運送事業の輸送の安全確保は、運輸安全マネジメントシステムと法令遵守の両輪で進めていくことが重要であり、中小規模事業者へ運輸安全マネジメントの導入、安全意識の醸成、徹底等改革が急務である。

このような状況を踏まえ、国土交通省においては平成29年7月に「運輸事業者における安全管理の進め方に関するガイドライン」の改定を行ったところである。TSDにおいても「運輸安全マネジメント普及・啓発推進協議会」と協調し、改正ガイドラインに沿った教材を積極的に活用し、中小規模事業者の安全意識の醸成に努めた。

さらに、輸送の安全確保を目的に社会的規制の強化が図られている中、運行管理体制の更なる向上に資するため運行管理者試験対策を積極的に進めた。

【成果】

① 事故防止等安全対策マニュアルの普及

出前講座・セミナー等で活用するとともに、近畿管内のバス・タクシー・トラックの各団体に対し普及に努めた。

② 運輸安全マネジメント出前講座及びセミナー（講師派遣）の開催

開催回数：3回 《延べ参加者 61名》

③ 運輸安全マネジメント認定セミナーの開催

開催回数：12回 《延べ参加者 495名》

中小向けガイドライン：7回 359名

内部監査（基礎）：3回 94名

リスク管理（基礎）：2回 42名

④ 運行管理者試験対策講習、特別初任運転者講習の開催

開催回数：16回 《延べ参加者 600名》



認定セミナー

(2) 近畿スマートエコ・ロジ協議会

～近畿における大気環境・地球温暖化対策等に関する調査及び発信～

【事業内容】

近畿における大気環境の改善や地球温暖化対策に資するとともに、石油依存からの脱却を目指すもっとも実用的な黒煙を排出しない天然ガス自動車や電気自動車等の次世代低公害車の普及を内外に発信することや情報交換等を実施した。

【成 果】

- ① 「奈良県トラック協会主催法令遵守セミナー」
開催日：平成30年8月2日（木）
場 所：奈良県トラック会館（大和郡山市）
内 容：エコロジ活動内容紹介、パネル展示、各種補助制度説明、交通安全対策等
参加者：82名
- ② 「2018おおさか交通安全ファミリーフェスティバル」(大阪府トラック協会)
開催日：平成30年9月23日（日）
場 所：府営浜寺公園噴水前広場
内 容：エコトラックPRペーパークラフト作成教室、トラック展示等
来場者：約20,000人
- ③ 「第26回トラックの日 交通安全フェスティバル」(和歌山県トラック協会)
開催日：平成30年10月7日（日）
場 所：和歌山ビッグホエール（和歌山市）
内 容：本協議会会員等による環境パネルの展示やクイズ、エコトラックPRペーパークラフト作成教室、環境ゲーム等
来場者：約5,000人
- ④ 「平成30年度 トラックの日イベント」(兵庫県トラック協会)
開催日：平成30年10月14日（日）
場 所：大手前公園（姫路市）
内 容：本協議会会員等による環境パネルの展示やスタンプラリー、エコトラックPRペーパークラフト作成教室、環境ゲーム等
来場者：約5,000人
- ⑤ 「びわ湖環境ビジネスメッセ2018」
開催日：平成30年10月17日（水）～19日（金）
場 所：長浜バイオ大学ドーム（長浜市）
内 容：本協議会事務局、滋賀県トラック協会職員による環境パネルの展示や、エコトラックPRペーパークラフト配布、DVD放映等
参加者：約28,000人
- ⑥ 「平成30年度 トラックの日PR活動」(奈良県トラック協会)
開催日：平成30年10月28日（日）
場 所：近鉄奈良駅前（行基広場 奈良市）
内 容：エコロジ啓発グッズ1,500セット配付
- ⑦ 「平成30年度 環境と物流を考えるフォーラム」
開催日：平成30年11月22日（木）
場 所：兵庫県トラック総合会館（神戸市）
参加者：105名
- ⑧ 「京都環境フェスティバル2018」
開催日：平成30年12月8日（土）～9日（日）
場 所：京都府総合見本市会館（京都パルスプラザ 京都市）
内 容：本協議会会員等による環境パネルの展示、PRペーパークラフト作成教室、環境ゲーム等
来場者：約28,000人

⑨近畿スマートエコ・ロジセミナー

開催日：平成31年2月25日（月）

場 所：中央電気倶楽部5階ホール

テーマ：「道路の交通環境を考える」

講 師：西成 克裕 氏（東京大学先端科学技術センター教授）

柴崎 徹 氏（UDトラックス（株）国内営業部門車両営業本部統括常務）

参加者：83名

【その他】

広報活動として、近畿スマートエコ・ロジ協議会のホームページに掲載するとともにリーフレットの作成を行い、低公害車の普及促進に努めた。

(3) 地域のバス交通のあり方に関する調査

【事業内容】

路線バスは、就労人口減少、少子高齢化等により厳しい経営環境に直面しているが、高齢者をはじめとした地域住民の日常的な移動手段としての役割は大きく、また、その地域を訪れる観光客の周遊手段としても期待は高まっている状況の中で、いかにして地域の足である路線バスを残していくのか、また、観光客等の交流人口の拡大に対してどのように対応していくのか、このような問題意識のもと、平成25年度から平成27年度の3ヶ年度にわたり「路線バスの可能性を考えるシンポジウム」を近畿2府4県で開催し、管内・管外事業者の先進事例等を発信し共有してきた。

しかし、発表事業者の取り組みのその後についてはフォローが出来ておらず、好事例を今後近畿管内のバス事業者へ水平展開していくためには、発表事業者へのフォローアップ調査を行うことで、地域で課題を抱えているバス事業者が既に取り組んでおられる様々な取り組みに対し、その持続可能性について示唆提供できるものと考えことから、フォローアップヒアリング等調査を実施することとした。

このような背景から、29年度と30年度の2ヶ年をかけてヒアリング調査を実施することとし、30年度については、下記の事業者についてヒアリングを実施し、その結果に基づく報告会を開催した。

【成 果】

1. 平成30年度フォローアップヒアリング実施事業者（5事業者5自治体）

年度	区分	事業者名等	ヒアリング実施日	シンポジウム開催府県 (開催年度)
30年度	バス事業者	和歌山バス㈱	H30.6.7	和歌山県 (25年度)
		京阪バス㈱	H30.6.21	大阪府 (26年度)
		奈良交通㈱	H30.7.20	兵庫県 (27年度)
		京都京阪バス㈱	H30.7.23	奈良県 (26年度)
		丹後海陸交通㈱	H30.9.18	滋賀県 (25年度)
	自治体	奈良県宇陀市	H30.6.11	奈良県 (26年度)
		和歌山県みなべ町	H30.6.15	和歌山県 (25年度)
		奈良県桜井市	H30.7.9	奈良県 (26年度)
		京都府宇治市	H30.7.23	奈良県 (26年度)
		京都府京丹后市	H30.9.19	滋賀県 (25年度)

2. 路線バスの可能性を考えるシンポジウムフォローアップ調査報告会開催

テーマ：「バス事業の取り組みビフォー・アフター 新たな
取り組みにもチャレンジしています！」

開催日：平成31年1月30日（水）

会場：大阪歴史博物館 4F講堂

基調講演：「ヒアリング調査から見えた持続可能なバス交通の
ありかたとこれからの課題」

（講師）井上 学 氏（立命館大学衣笠研究機構客員協力研究員アドバイザー）

パネルディスカッション

（モデレーター）井上 学 氏（立命館大学衣笠研究機構客員協力研究員アドバイザー）

（パネリスト）森山 豊 氏（京阪バス株式会社経営企画室 部長）

坂部直成 氏（南海りんかんバス株式会社 取締役社長）

児玉 健 氏（京都バス株式会社運輸部 次長）

田中 亮 氏（河内長野市都市づくり部都市創生課 副主査）

山口久夫 氏（宇陀市企画財政部企画課 課長）

（コメンテーター）後藤浩之 氏（近畿運輸局自動車交通部 次長）

参加者 217名



(4) 交通事業者向けバリアフリー教育訓練（BEST研修）

【事業内容】

高齢者・障害者の安全で円滑な公共交通機関の利用を実現すること
と、障害者等移動制約者への理解を深めることを目的に、障害当事者
等が講師として交通事業者を対象に接遇・介助の知識と技術を伝
えるための教育訓練を実施した。

（訓練内容）

1. 障害のある方や高齢のお客様に対する接遇・介助の基本知識や
コミュニケーションの基本を習得する
2. より深く障害を理解する
3. 障害のある方との意見交換を通し、それぞれの立場の相互理解
や知識の共有化を図る
4. 具体的な接遇や介助技術を身につける
5. 様々なお客様のニーズを感じ取る「気づきの心」を磨く



視覚障害者乗降体験

【成 果】

研修会を6回開催し、22事業者（鉄道、バス）から138名が受講し、全員修了した。

第1回 開催日：平成30年6月27日（水）・28日（木）

場 所：大阪国際交流センター

参加者：13名（鉄道8名、バス5名）

第2回 開催日：平成30年7月5日（木）・6日（金）

場 所：京都市交通局会議室

参加者：28名（地下鉄28名：京都市交通局研修）

第3回 開催日：平成30年8月2日（木）・3日（金）

場 所：京都市交通局会議室

参加者：32名（バス32名：京都市交通局研修）

- 第4回 開催日：平成30年12月6日(木)・7日(金)
 場 所：京都市交通局会議室
 参加者：27名(地下鉄27名：京都市交通局研修)
- 第5回 開催日：平成30年12月11日(火)・12日(水)
 場 所：神戸国際会館セミナーハウス
 参加者：18名(地下鉄18名：神戸市交通局研修)
- 第6回 開催日：平成31年1月22日(火)・23日(水)
 場 所：大阪国際交流センター
 参加者：20名(鉄道8名、バス12名)

(5) 幼稚園児環境教室

【事業内容】

日常生活に密着した公共交通機関であるバスについて、身近な乗り物で環境にやさしいことなどについて保護者とともに学び、その重要性について、理解を深めるため実際の路線バスを活用した体験型交通環境教室を開催した。

【成 果】

開催日：平成30年11月28日(水)

場 所：河内長野市三日市幼稚園

南海バス河内長野営業所

園 児：園児 年長11名、年中7名及びその保護者

内 容：バスによるお出かけプラン作成、河内長野営業所見学等



(6) 兵庫県トラック協会環境対策等事業及び広報誌作成事業の実施

【事業内容】

一般社団法人兵庫県トラック協会は、兵庫県一円の貨物自動車運送事業並びに、貨物利用運送事業の社会的、経済的地位の向上と、会員相互の連絡協調を緊密にすることを目的に活動しているところであり、また、事業の役割と重要性について一般市民の理解促進を図ることについても重要な使命としているところである。

平成30年度においては、環境、人材、安全面からのトラック事業者やドライバーの考え方などを調査・把握し、その結果等を業界向けに有益な情報として広く提供するとともに、日本経済を支えるトラック輸送の重要性を広くPRすることで更にトラック業界の発展を目指すこととした。

その一環として、業界向けに広報資料を作成し展開することと併せ、「エコドライブチェック」調査を全会員に対して実施し、回収調査票を精査のうえ分析し、あらゆる機会毎に公表するなどの活用を図った。

【成 果】

①トラック業界の働き方に関するアンケート調査の実施

トラック業界の働き方改革に向けて、会員事業者の取組み実態を把握し、その結果や先進事例等を会員事業者に還元するためにアンケート調査を実施した。

1. 回収数 433社 (22.3%)

2. 会員への還元：兵庫県トラック協会ホームページ掲載、広報誌掲載等

② 会員向けリーフレット「図表で見るトラック業界の価値を高める羅針盤」の作成及び配付

作成部数：3,500枚（A4 20ページ）

内 容：トラック業界の働き方改革、環境・省エネ対策の推進等

配 付：兵庫県トラック協会全会員に配付



③ 環境と物流を考えるフォーラムの開催

平成30年11月22日（木）兵庫県トラック会館において、全会員事業者に対するエコドライブチェック調査の中間報告を行い、兵庫県トラック業界及び事業者の環境改善への取り組みの有効性を広く周知することを目的に「環境と物流を考えるフォーラム」を開催した。

フォーラムの内容は「兵庫県トラック協会環境対策事業及び広報誌作成等報告書」として取りまとめ、関係者等に配付した。

(7) 手話教室

【事業内容】

聴覚障害者の方と交通運輸事業者とのコミュニケーションの場を広めるための「手話教室」を25回開催し、聴覚障害者への理解と接遇の向上による移動円滑化の推進を図った。

【成 果】

鉄道、バス等の9事業者から16名が受講し、13名が修了した。

(8) バリアフリー推進勉強会

【事業内容】

移動円滑化に対するテーマや課題について、学識者、障害当事者、交通事業者、行政、各メーカー等関心のある方々との情報共有をし、改善の方向性を共に考えることを目的に、バリアフリー推進勉強会を2回開催した。

【成 果】

第8回勉強会

テ ー マ：「誰もが利用しやすい公共空間でのトイレの整備について」

開 催 日：平成30年10月12日（金）

場 所：中央電気倶楽部 5階511号室

基調講演：「Osaka Metro のトイレリニューアル事業について」

（講 師）池宮 学 氏（大阪高速電気軌道株式会社 鉄道事業本部建築部 建築課長）

講 演：「トイレの「困った」を改善したい」

（講 師）鈴木 千春 氏（障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会）

講 演：「なんば車いすトイレマップ ー迷わない なんばへ！ー」

（講 師）石田 義典 氏（障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会）

講 演：「トイレの「困った」を改善したい」

（講 師）中村 香子 氏（障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会）



パネルディスカッション：「聴覚障害者が安心して外出できる街をめざして」

(コーディネーター) 三星 昭宏 氏 (近畿大学名誉教授)

(パネリスト) 池宮 学 氏 (大阪高速電気軌道株式会社 鉄道事業本部 建築部 建築課長)

鈴木 千春 氏 (障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議)

石田 義典 氏 (障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議)

中村 香子 氏 (障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議)

(モデレーター) 松原 淳 氏 (公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

参加者：102名

第9回勉強会

テーマ：「災害時(地震等)における移動困難者への
配慮を考える」

開催日：平成31年2月27日(水)

場所：ハービス PLAZA 5階会議室

基調講演：「公共交通機関等における震災時の共生の
技法とは何か」

(講師)：石塚 裕子 氏

((公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構
主任研究員)

事例紹介：「障害当事者と見知らぬまちで。

まちなか被災シミュレーションの実践」

(講師)：椎名 保友 氏 (NPO法人 日常生活支援ネットワーク コーディネーター)

パネルディスカッション：「災害時(地震等)における移動困難者への配慮」

(コーディネーター) 三星 昭宏 氏 (近畿大学名誉教授)

(モデレーター) 石塚 裕子 氏 ((公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構 主任研究員)

松原 淳 氏 ((公財) 交通エコロジー・モビリティ財団)

(パネリスト) 椎名 保友 氏 (NPO法人 日常生活支援ネットワーク コーディネーター)

波那本 豊 氏 (ケアステーションきりん まちなか被災シミュレーション運営)

参加者：76名



(9) 第12回自動車事故防止セミナー

【事業内容】

自動車運送事業においては、中小規模事業者が圧倒的多数を占め、自らの能力だけで安全対策の充実を図るには様々な障害や課題を克服しきれないのが現状である。

本セミナーでは、「把握していますか？乗務員の健康状態」と題して学識経験者より「自動車運送事業における過労死・健康起因事故等の防止対策」、また、運送事業者より「健康起因事故の防止に向けて」、さらに自動車局安全政策課より「事業用自動車の安全対策について」などを紹介し、事故防止の意識の向上を図ることを目的に開催した。

【成 果】

開催日：平成31年1月24日（木）

場 所：ドーンセンターホール（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

テ ー マ：「事業用自動車の安全対策について」

（講 師）：菊池 雅彦氏（国土交通省自動車局 安全政策課 自動車安全監査官）

テ ー マ：「自動車運送事業における過労死・健康起因事故等の防止対策」

（講 師）：山田 誠二氏（山田誠二産業保健センター 所長）

テ ー マ：「健康起因事故の防止に向けて」

（講 師）：西谷 保弘氏（奈良交通株式会社安全管理部統括部長）

参加者：330名



（10）運輸安全マネジメントシンポジウム2019

【事業内容】

平成18年より開始された「運輸安全マネジメント」の一層の普及・浸透・定着を図り、基本的考え方や最近の情勢情報を提供するとともに、より多くの道路運送事業者の安全度の向上に資することを目的にシンポジウムを開催した。

【成 果】

開催日：平成31年2月21日（木）

場 所：クレオ大阪東 ホール

第Ⅰ部 基調講演

テ ー マ：「平成29年改訂ガイドラインにおける人材不足について」

（講 師）：木下 典男氏（国土交通省大臣官房 運輸安全監理官付 次席運輸安全調査官）

テ ー マ：「運送事業におけるドライバー採用と定着促進のポイント」

（講 師）：宇佐川 邦子氏（株式会社リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンター長）

第Ⅱ部 パネルディスカッション

テ ー マ：「運輸安全マネジメントの取組効果と課題について」

（コーディネーター）木村 貴彦氏（関西福祉科学大学教授）

（アドバイザー）木下 典男氏（次席運輸安全調査官）

（パネリスト）長谷川 真一氏（山陽バス（株）専務取締役）

松永 寛子氏（数島交通（株）代表取締役社長）

谷 昇生氏（谷正運輸（株）代表取締役社長）

参加者：231名

(1 1) 交通関係環境保全優良事業者等表彰式及び記念講演

【事業内容】

地域の实情に応じた環境対策の専門的見地からの講演や環境対策の先進的交通関係事業者（トップランナー）の事例報告等を通して、地方自治体、運輸関係者や自動車関連事業等に携わる各層の方々に、より高い関心を持っていただくことを目的に講演会を開催した。

【成 果】

開催日：平成30年9月26日（水）

会場：大阪歴史博物館 4階講堂

記念講演：テーマ：「人と公共交通を優先したまちづくり」

講師：小谷 通泰 氏（神戸大学名誉教授）

事例紹介：WILLER TRAINS（株）（株）丹後王国

～地元企業と連携した人と環境にやさしい地方型貨

客混載事業の実態～

阪神都市圏公共交通利用促進会議

～阪神都市圏における継続的な公共交通利用促進の

取り組み～

南海電気鉄道（株）

～鉄道事業者による総合的な環境保全への取り組み～

参加者：140名



(1 2) 外国人技能実習制度（自動車整備職種）の運用適正化・円滑化調査検討委員会の開催

【事業内容】

2016年（平成28年）4月から、外国人技能実習制度の対象職種となった自動車整備について、近畿運輸局、関係団体並びに関係者による委員会を立ち上げ、外国人技能実習生の受け入れに関する諸課題等の掘り起こし、外国人技能実習にかかる監理団体及び実習実施者（受入れ企業）に対するヒアリング調査やその結果分析等を行い、外国人技能実習制度の運用にかかる適正化及び円滑化方策等を策定した。

【成 果】

①委員会の開催

第1回委員会：平成30年10月18日（木）

第2回委員会：平成31年 2月18日（月）

第3回委員会：平成31年 3月27日（水）

② 外国人技能実習制度の運用にかかる適正化及び円滑化方策等を策定

「外国人技能実習制度（自動車整備職種）の運用適正化・円滑化調査検討に係る報告書」を作成し、自動車関係団体等に展開した。

(13) 事業用自動車の運転者の安全・安心・健康維持促進体操策定準備委員会の開催

【事業内容】

高齢化が進む運転者の健康状態に起因する交通事故が年々増加しており、原因としては、居眠り運転であったり、疲労や過労によって集中力を欠いてしまったりなどさまざまである。

こうしたことから、さまざまな場所へ行く運転者は、コンビニなどの外食が増え、運動不足にもなりやすく、肥満や生活習慣病を予防するためにも、積極的に身体を動かし、健康に気を配る必要がある。

そこで、バス、タクシー、トラックの職種ごとに、勤務形態の特徴等を考慮した健康体操を策定し、事業用自動車の運転者の健康増進並びに安全・安心の向上に寄与することを目的とするものであり、次年度（2019年度）の本委員会開催に向けその準備委員会を開催した。

【成 果】

① 準備委員会の開催：平成31年3月19日（月）

② 実施事項

- ・バス、タクシー、トラック運転者の業務形態、勤務特徴の把握
- ・バス・タクシー・トラック運転者アンケートの実施・分析
- ・身体的疲れや予防に対する体操の策定
- ・策定した体操の展開方法の検討

2. 交通経済に関する講演会等の開催

(1) サロンセミナー

日 時 : 平成31年2月28日(木) 14:30~16:30

場 所 : ホテルグランヴィア大阪 名庭の間

テーマ : 「国連世界観光機関 (UNWTO) と日本観光、そして、大阪・関西」

講 師 : 本保 芳明 氏 (国連世界観光機関駐日事務所代表)

参加者 : 72名

開催主旨

国連世界観光機関 (UNWTO) は、1975年 (昭和50年) 1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年 (平成15年) に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関である。観光関連の統計業務や国際会議の開催に加え、観光の地位、競争力の向上、持続可能な観光の推進及び観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援している。

国連世界観光機関駐日事務所は、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年 (平成7年) 大阪に設立され、その後2012年 (平成24年) に奈良市に事務所を移転し業務を行っている。駐日事務所では、アジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っている。

第14回サロンセミナーでは、国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所代表を務める本保芳明氏 (初代観光庁長官) をお迎えし、UNWTO の活動、観光振興による国際社会の発展に資する役割及び重要性等についてご講演をいただいた。



(2) 国土交通白書説明会

日 時 : 平成30年10月3日(水) 14:00~15:30

場 所 : 大阪合同庁舎第1号館 第1別館

テーマ : 平成29年度国土交通白書の説明

講 師 : 戸田 勝哉 氏 (国土交通省 総合政策局政策課 政策調査室 課長補佐)

東 章吾 氏 (国土交通省 総合政策局政策課 政策調査室 調査分析係長)

参加者 : 150名

(3) 災害対策シンポジウム

日 時 : 平成31年2月5日(火) 13:30~16:30

場 所 : 中央電気倶楽部 5階ホール

テーマ : 「南海トラフ地震を迎え撃つために」

講 師 : 横田 崇 氏 (内閣府参与 愛知工業大学教授)



テーマ：「JR西日本和歌山支社きのくに線における津波対策について」

講師：伊藤 義彦 氏（西日本旅客鉄道（株）和歌山支社長）

参加者：207名

開催主旨

東日本大震災以降、地震や津波など自然災害への防災・減災の意識は高まりつつあるが、関西圏においては南海トラフ巨大地震の発生等も懸念されており、大規模自然災害に備えた広域的な防災体制の強化等が急務となっている。

そこで、今後想定される大規模自然災害からの被災を最小限に抑える防災・減災対策を中心に現状の危機対策と今後の課題など、広く認識を共有することを目的に第7回災害対策シンポジウムを開催した。

(4) かんこうけんコロキウム

【第32回】

日時：平成30年8月29日（月） 18:00～19:30

場所：近畿陸運協会会議室

テーマ：「京都鉄道博物館の歩み」

講師：四方 光貞 氏（（公財）交通文化振興財団京都鉄道博物館副館長）

参加者：25名



第32回コロキウム

【第33回】

日時：平成30年11月15日（木） 18:00～19:30

場所：近畿陸運協会会議室

講演

テーマ：「観光の現状とDMOについて」

講師：宮田 亮 氏（近畿運輸局観光部長）

テーマ：「お茶の京都DMOの取組み」

講師：脇 博一 氏（（一社）京都山城地域振興社 社長）

参加者：27名



第33回コロキウム

【第34回】《懸賞論文表彰式・入選論文プレゼンテーション》

日時：平成31年3月8日（金） 17:00～18:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

テーマ：「訪日外国人によるレンタカー利用と事故防止の課題」

発表者：関西大学：三味 真穂 氏、曾谷 智也 氏、塚本 裕子 氏

参加者：30名



第34回コロキウム

3. 懸賞論文(提案・提言)の募集事業

次世代を担う方々の叡智を通じて当センターの調査研究における新たな切り口を発掘し、近畿圏における運輸交通・観光事業の一層の発展と地域社会の活性化に寄与すべく、平成20年度から懸賞論文事業を実施している。

平成30年度は6大学から15件の応募があり、優秀賞1件、佳作1件を選定し表彰した。

○ 優 秀 賞 「訪日外国人によるレンタカー利用と事故防止の課題」

関西大学：三味 真穂 氏、曾谷 智也 氏、塚本 裕子 氏

○ 佳 作 「地域活性化の視点からの鉄道沿線ウォーキングイベントの比較分析」

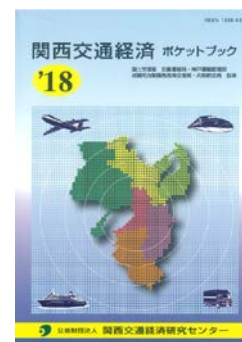
関西大学大学院：保田 義之 氏

関西大学：田中 智也 氏

4. 文献その他出版物の刊行

(1) 「関西交通経済ポケットブック」の刊行

「関西交通経済ポケットブック2018年版」を刊行し、賛助会員、関係機関及び研究機関に配布したほか、一般に広く頒布した。



(2) 機関誌「関 交 研」の発行

2018年春季号(137号)及び秋季号(138号)を発行し、賛助会員等に配付した。

【主な掲載内容】

(137号)

- ・平成29年度 第12回サロンセミナー

「日本の経済成長と国民生活を持続的に支える「強い物流」の実現に向けて」

- ・第30回 かんこうけんコロキウム 「自動運転を巡る動向」
- ・平成29年度 かんこうけん懸賞論文 表彰式

入選論文 「近畿におけるICカード乗車券の利用率向上に関する提案」

- ・平成29年度 懸賞論文審査報告
- ・第7回 バリアフリー推進勉強会 in 関西

テーマ：認知症者の外出と公共交通機関における対応

(138号)

- ・所感 近畿運輸局長
- ・所感 神戸運輸監理部長
- ・第32回 かんこうけんコロキウム 「京都鉄道博物館の歩み」
- ・平成30年度 交通関係環境保全優良事業者等局長表彰

「地元企業と連携した人と環境にやさしい地方型貨客混載事業の実施」

「阪神都市圏における継続的な公共交通利用促進の取り組み」

「鉄道事業者による総合的な環境保全への取り組み」



5. その他

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当することがないので、事業報告の附属明細書は作成しない。

(参 考)

平成30年度調査研究事業一覧表

(P. 2～11 関連)

番号	事業名	受託先
1	TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進	(一財)近畿陸運協会
2	近畿スマートエコ・ロジ協議会	(一社)近畿トラック協会
3	地域のバス交通のあり方に関する調査	(一財)近畿陸運協会 近畿バス団体協議会
4	交通事業者向けバリアフリー教育訓練(BEST研修)	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
5	幼稚園児環境教室	(一財)近畿陸運協会
6	兵庫県トラック協会環境対策等事業及び広報誌作成事業の実施	(一社)兵庫県トラック協会
7	手話教室	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
8	バリアフリー推進勉強会	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
9	第12回自動車事故防止セミナー	(一財)近畿陸運協会
10	運輸安全マネジメントシンポジウム2019	(一財)近畿陸運協会
11	交通関係環境保全優良事業者等表彰式及び記念講演	(一財)近畿陸運協会
12	外国人技能実習制度(自動車整備職種)の運用適正化・円滑化調査検討委員会の開催	(株)キリック (一社)大阪府自家用自動車連合協会
13	事業用自動車の運転者の安全・安心・健康維持促進体操策定準備委員会の開催	(株)キリック

Ⅲ. 庶務事項

1. 会議等

A. 理事会

(1) 第17回理事会

開催日 平成30年5月28日(月) 11:00~12:00

開催場所 ホテルグランヴィア大阪

議案

- ① 平成29年度事業報告書及び決算報告書(案)の承認について
- ② 平成30年度定時評議員会の招集について

(2) 第18回理事会(大阪北部地震の影響により中止)

開催日 平成30年6月18日(月) 13:00~13:30

開催場所 ホテルグランヴィア大阪

議案

- ① 会長・理事長及び常務理事の選定について

(3) 第18回臨時理事会(書面決議)

開催日 平成30年6月25日(月)

議案

- ① 平成30年度定時評議員会の決議の省略について

(4) 第19回理事会(書面決議)

開催日 平成30年6月25日(月)

議案

- ① 会長・理事長及び常務理事の選定について

(5) 第20回理事会

開催日 平成31年2月26日(火) 11:30~12:00

開催場所 ホテルグランヴィア大阪

議案

- ① 平成31年度事業計画(案)について
- ② 平成31年度収支予算(案)について
- ③ 平成30年度定時評議員会の招集について

B. 評議員会

(1) 第14回 評議員会 (大阪北部地震の影響により中止)

開催日 平成30年6月18日 (月) 11:00~12:00

開催場所 ホテルグランヴィア大阪

議案

- ① 平成29年度決算報告書(案)の承認について
- ② 任期満了に伴う次期理事の選任について
- ③ 監事の辞任に伴う選任について
- ④ 評議員の辞任に伴う選任について

(2) 第14回 評議員会 (書面決議)

開催日 平成30年6月25日 (月)

議案

- ① 平成29年度決算報告書(案)の承認について
- ② 任期満了に伴う次期理事の選任について
- ③ 監事の辞任に伴う選任について
- ④ 評議員の辞任に伴う選任について

(3) 第15回 評議員会

開催日 平成31年3月12日 (火) 11:30~12:00

議案

- ① 平成31年度事業計画(案)について
- ② 平成31年度収支予算(案)について

C. その他

平成29年度事業報告にかかる公益認定等委員会の立入検査

実施日 平成30年10月18日 (木)

平成28年度日本財団の助成金 (基盤整備)

平成29年度日本財団の助成金 (「海学び舎」あらかると啓発事業) 監査

実施日 平成31年1月29日 (火)

D. 役員等名簿 (平成31年3月31日現在)

(1) 役員

会長	尾崎	裕	大阪ガス(株) 代表取締役会長
理事長	岩崎	勉	元 国土交通省 大臣官房総括審議官
常務理事	土井	眞三	(公財)関西交通経済研究センター 事務局長
理事	荒木	律也	(一社)京都府トラック協会 会長
〃	池田	誠	日本通運(株) 常務執行役員関西ブロック地域総括兼大阪支店長
〃	小谷	通泰	神戸大学 名誉教授
〃	加藤	琢二	加藤汽船(株) 代表取締役社長
〃	梶元	政明	(一社)大阪バス協会 会長
〃	和田林	道宜	近畿日本鉄道(株) 代表取締役社長
監事	岡田	信	阪神バス(株) 代表取締役会長
〃	西願	廣行	近畿冷蔵倉庫協議会 会長
顧問	野村	明雄	大阪ガス(株) 特別顧問

(2) 評議員

評議員	阿部	哲夫	(株)名門大洋フェリー 代表取締役会長
〃	片山	昌俊	(一社)神戸港振興協会 専務理事
〃	阪田	茂	南海フェリー(株) 代表取締役社長
〃	辻	卓史	(一社)大阪府トラック協会 会長
〃	長尾	真	(公社)兵庫県バス協会 会長
〃	野村	欣史	阪急電鉄(株) 常務取締役都市交通本部長
〃	橋本	一孝	(株)辰巳商会 常務取締役
〃	松川	隆男	(一財)近畿陸運協会 理事長

2. 賛助会員 (平成31年3月31日現在)

法人会員数・口数	91 社	1,027 口
個人会員数・口数	12 名	16 口

3. 事務局

(1) 事務所

大阪市西区西本町1丁目7番2号 (ウエスト・スクエアビル 9F)

電話 (06)6543-6291 FAX (06)6543-6295

ホームページ <http://www.kankouken.org>

(2) 役職員 (平成31年3月31日現在)

役員	3名	(会長(非常勤)、理事長(非常勤)、常務理事)
事務局長	1名	(常務理事、総務部長兼務)
総務部	1名	(課員)
業務部	2名	(部長、研究員)